

「ありがとう」の  
代わりに

# 人と人 つながりの物語



illustration: Maiko Dake

コープデリグループの  
組合員数は約550万人。  
組合員の皆さんの数だけ、  
物語がある。その物語を、  
毎月一つお届けしていきます。  
描いているのは皆さんのくらしと  
コープデリの接点。  
あなたの物語はどんな物語ですか。

8年前に60歳で退職した埼玉  
県在住のYさんは、妻と息子の  
3人暮らし。朝からメジャー  
リーグの試合をテレビ観戦し、  
週に1度は息子と将棋を指す。  
2カ月に1度は施設で暮らす母  
を兄弟で訪ねておしゃべりに花  
を咲かせ、帰りにレストランで  
食事をする。「70年近く生きて  
きて、今が一番楽しい」と、穏  
やかなリタイア生活を満喫して  
いる。定年後に始めた料理も楽  
しみのひとつだ。

共働きだったため、同居して  
いた母が主に3度の食事を作っ  
てくれていた。家事や育児の多  
くは妻が引き受けていた。申し  
訳ない気持ちはずっと心の片隅  
にあったYさん。退職後、母の  
入院をきっかけに、家族の朝食  
と昼食を用意するようになった。  
朝食はご飯・みそ汁・納豆が定  
番。料理経験がゼロだったYさ  
んには簡単ではなかったけれど、  
作るのはみそ汁だけなので何と  
かなった。市販のカット野菜を駆  
使し、妻が育てる野菜を入れる  
こともある。問題は昼食。失敗  
せずにおいしいもの、と思うと、  
どうしてもラーメンや焼きそば、  
うどんなど簡単なもの、出来合  
いの弁当ばかりになってしまふ。  
料理本を見ても自分に作れると  
は思えず、レパートリーを増やす  
ことをYさんは諦めかけていた。

.....\$.....

しかし3年前からは、自信を  
もっているようなメニューに挑  
戦できるようになった。きっか  
けは、偶然目にしたコープデリ  
宅配のチラシ。お得な冷凍食品  
の中に好物の中華料理を見つけ  
てコープみらいに加入し、商品  
カタログ『ハピ・デリ!』で「コ  
プデリミールキット」の存在を  
知ったのだ。

「最初に頼んだのは、レバニラ  
炒めと八宝菜と酢豚。こんなに  
簡単に作れるんだ!と感動し  
て、それ以来ずっと利用してい  
ます。材料は全部切つてある  
し、調味料も計量済み。書いて  
ある通りに作るだけで、外食並  
みにおいしくできる。調理時間  
は10分~15分程度。それで鴨鍋  
とか作れちゃうんです。家に届  
けてもらえて、値段も市販のお  
弁当と大差ありません。それな  
ら私は作りたいんです。料理に  
慣れている人からすれば大し  
たことではないでしょう。妻も  
褒めてはくれません。でも、任  
せてくれます。毎日楽しく暮  
らせるのは、ミールキットの  
おかげ」

.....\$.....

配達のある日は、パソコンで  
組合員のコメントを参考にしな  
がら1週間分のメニューを考  
え、メニューが決まったら『ハ  
ピ・デリ!』を切り抜いてメモ  
代わりにノートに貼り付ける。  
これを見ながら注文するので、  
前週に頼んだメニューとかぶら  
ずに注文できる。「ミールキッ  
トだけでなく、麺類ならあんか  
けラーメン、ちゃんぽん、皿  
うどんなど種類が豊富で、『ハ  
ピ・デリ!』を眺めるだけでも楽し  
い」とYさんは笑う。妻や息子  
はあまり感想を言わないけれ  
ど、満足しているように見える。  
だから食後の食器洗いも苦にな  
らない。

感謝やいたわりの気持ちを言  
葉にしたり、一から料理を作っ  
たりするのは難しい。でも、ミ  
ールキットを使った料理なら頑張  
れるし、達成感もある。「私が  
家族の役に立つのはこれだけだ  
から、動けなくなるまでは続け  
たい」と話すYさんの姿は、すっ  
かり台所になじんでいる。

過去の物語も  
こちらから読めます



あなたのエピソードを  
お寄せください。

コープ職員との心に残る出来事を随時募集しています。氏名・電話番号・組合員コードを記入し、  
郵便(〒336-8526埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13 コープデリ連合会 コミュニケーション推進部宛)か、左記のWeb応募フォームよりお送りください。